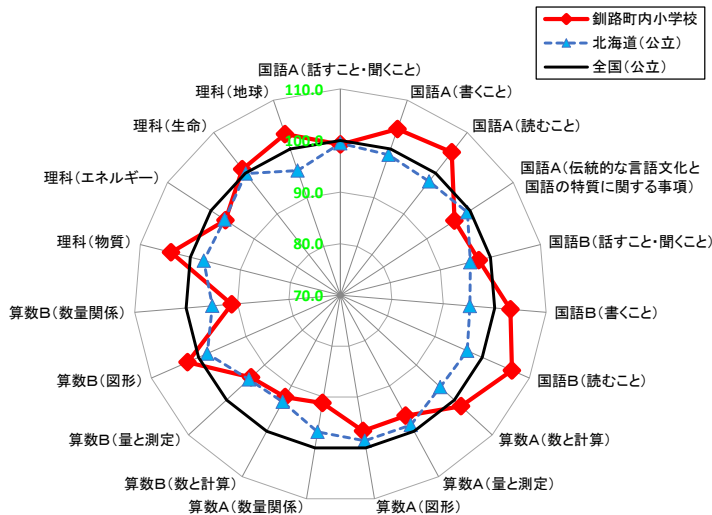


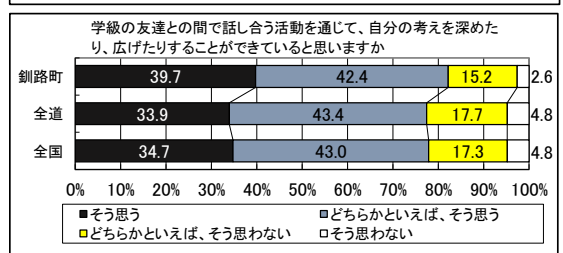
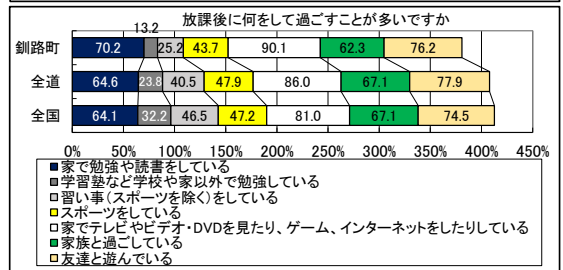
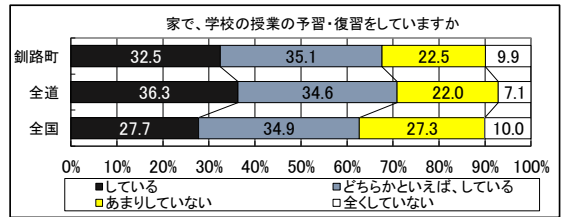
■釧路町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:151人)

【教科全体の状況】

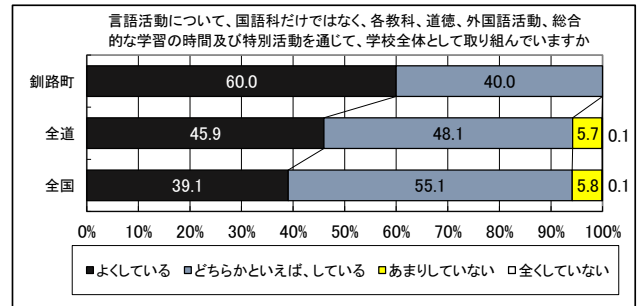
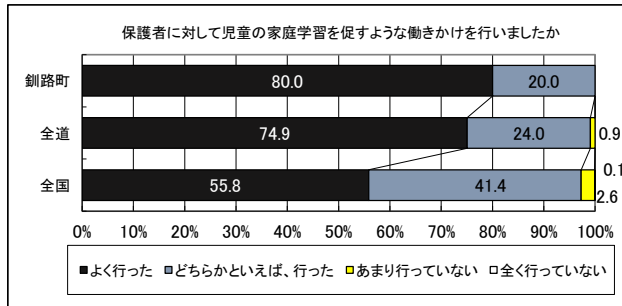
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「生命」「地球」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、児童が家庭で学校の授業の予習・復習を行うなど、学習習慣が身に付いたと考えられる。 ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科等を通じて、学校全体として取り組んだことにより、児童は自分の考えを深めたり、広げたりすることができ、書くことや読むことの能力の向上が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「放課後に家で勉強や読書をして過ごすことが多い」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

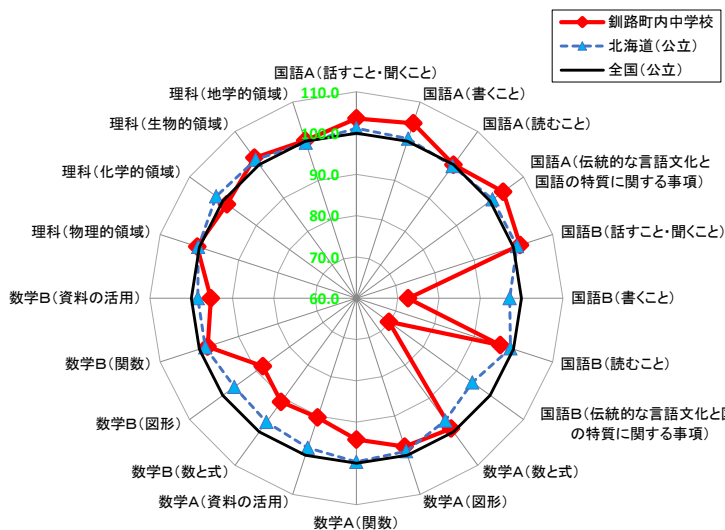
【釧路町の学力向上策】

- ◎ 学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組
- ◎ 学習習慣の確立を図るため、「ノーゲームデー」「我が家の約束づくり」「生活リズムチェックシート」等の学校と家庭が一体となった取組の推進

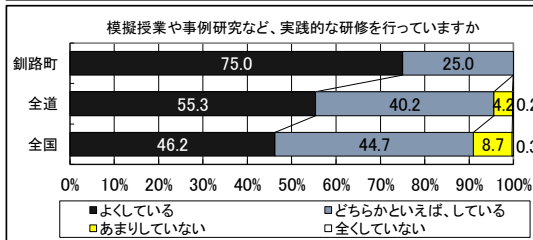
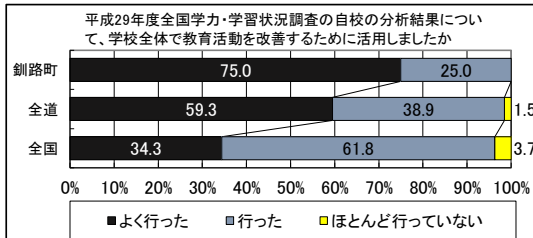
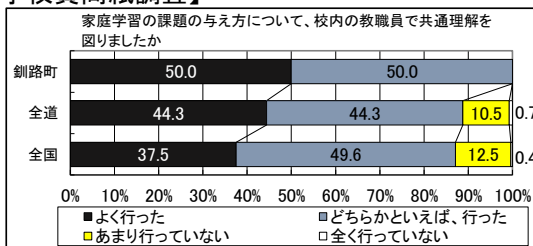
■釧路町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:172人)

【教科全体の状況】

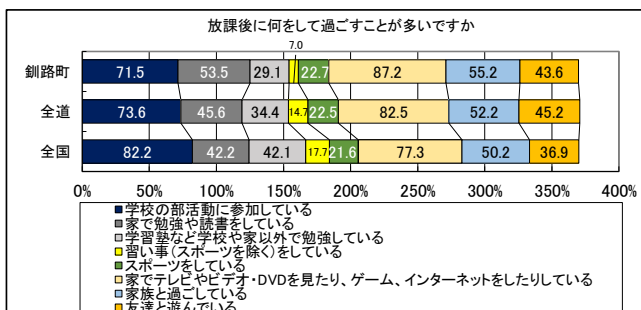
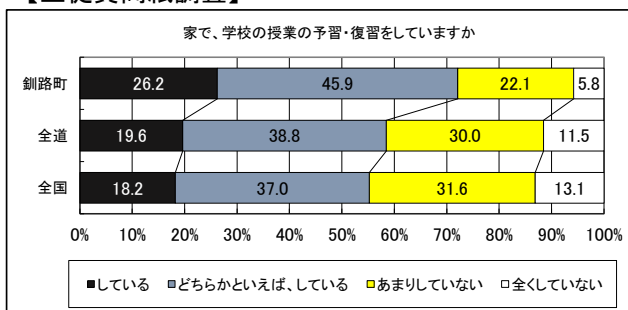
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回り、Aの「読むこと」で全国と同じである。 数学Aでは、「数と式」で全道を上回っている。 理科では、「物理的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回り、「地学的領域」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図ったことにより、生徒が家庭で学校の授業の予習・復習を行うなど、学習習慣が身に付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 「放課後に家で勉強や読書をして過ごすことが多い」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したり、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、教員の指導力が上がり、各教科における基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 「平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【釧路町の学力向上策】

- ◎ 学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組
- ◎ 学習習慣の確立を図るため、「ノーゲームデー」「我が家の約束づくり」「生活リズムチェックシート」等の学校と家庭が一体となった取組の推進